

## こどもの読書週間 4/23 (火) ~5/12 (日)

期間中は子ども向けのイベントを開催します。家族や友達同士で図書館に遊びに来ませんか？

※内容が変更になることがあります。詳しくは館内のチラシまたは図書館ホームページをご覧ください。

### 4月27日(土)

#### ワクワク！よみきかせ駅伝

10:00~11:30  
図書館3階おはなしのへや

#### 図書館のなぞときラリー

14:00~16:00 受付  
図書館3階おはなしのへや集合

### 5月3日(金・祝)

#### あおぞらおはなし会

10:30~11:00  
文化フォーラム春日井  
4階スカイフォーラム

#### ブラックパネルシアター

14:00~14:30  
文化フォーラム春日井  
2階会議室

### 5月11日(土)

#### 腹話術と楽しい手品

10:30~11:10  
文化フォーラム春日井  
2階会議室

#### 紙芝居とお話を聞く会

15:00~15:30  
図書館3階おはなしのへや

#### 音訳ってなあに？

~自分の声を録音してみよう~

13:00~14:30  
図書館3階録音室

#### 点字を打ってみよう！

~自分の名前を打ったり  
メッセージカードを作ったりしよう~

13:00~14:30  
図書館3階おはなしのへや



## おすすめ本紹介

# 北海道

厳しい冬が過ぎ、雪解けが始まる北海道。雄大な自然が、魅力的な人や物を育てるのでしょうか？あなたも本の中にある北の国をのぞいてみませんか。



## 『もっと知りたいアイヌの美術』

山崎 幸治/著 東京美術 750.2/モ/21 (図書館 4 階一般)

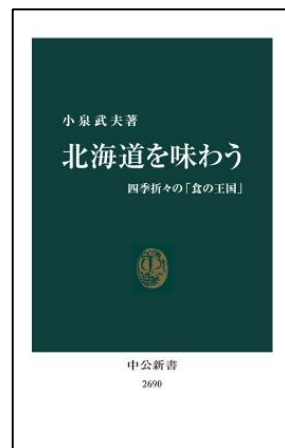
「天から役割なしに降ろされたものはひとつもない」というアイヌの<sup>ことわざ</sup>諺があります。どんなに小さく役に立たないと思われるものでも決して軽んじてはならないという意味です。

豊かな精神文化をもっているアイヌ。文字を持たない彼らはどのように子孫に伝統を伝えていったのでしょうか。本書では、美しいアイヌ美術を文化人類学の視点で紹介しています。

## 『北海道を味わう』

小泉 武夫/著 中央公論新社 596/ホ/22 (図書館 4 階新書)

「北海道名誉フードアドバイザー」の博士が、北海道の四季を食べ歩き、旬を綴っているエッセイです。著者の深い知識とユニークな表現を通じて、食べたい！と思わせてくれます。「食の宝庫」北海道ならではの食材や調理法もたくさん載っています。笑って学べる一冊です。



## 『地図で楽しむ本当にすごい北海道』

都道府県研究会/著 宝島社 291.1/チ/23 (グリーンパレス)

この本では、地図・地形図から北海道を読み解いていきます。

「ボールパーク」開業による地価の上昇から経済に注目したり、道の駅の地域色比較もあります。歴史や交通など様々な視点で北海道を楽しめます。ガイドブックにはない北海道のディープな魅力満載です。

## おすすめ本紹介

# アジアのおやつ

日本には和菓子があるように、すぐそばの国にも昔から伝わるすてきなおやつがあります。写真映えはしなくても体に優しいおやつを家庭で手作りして味わってみてはいかがでしょうか。

## 『おうちで台湾スイーツ』

谷口 ももよ/著 洋泉社 596.6/オ/15 (図書館3階実用)

少し前にタピオカミルクティが大流行しましたが、台湾にはほかにもフルーツや豆類など健康や美容に良い食材を使ったおいしいおやつがたくさんあります。おいしく食べてきれいになれるなんて最高！日本にある食材でできる簡単な作り方が紹介されています。



## 『おいしさ新鮮！韓国のお菓子』

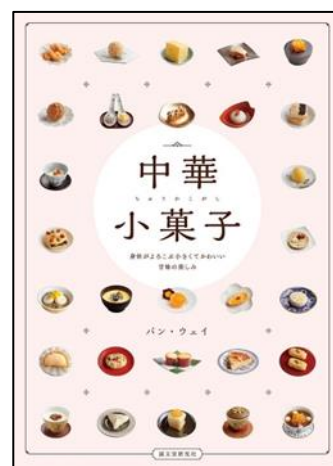
呉 浩子/著 文化出版局 596.6/オ/03 (図書館3階実用)

近頃は、写真映えするカラフルでかわいいスイーツが人気ですが、韓国の伝統菓子の魅力は、素朴なおいさにあります。胡麻やナツメ、松の実などの体にやさしい食材を使用しており、おもちは甘さ控えめで素材の味を生かすように作られているそうです。この本のレシピなら、そんな手作りの味を楽しめます。

## 『中華小菓子』

パン・ウェイ/著 596.6/チ/15 (図書館3階実用)

著者が中国生まれの人なので本場の味が楽しめます。饅頭や春餅とよばれるお餅などの作り方が紹介されています。使われている材料に、どんな効能があるのかという解説だけでなく、食べない方がよいタイミングなどの注意も書かれています。医食同源の中国ならではのですね。



## おすすめ本紹介

# 相談

悩み事が多い現代社会、皆さん様々な悩みがあると思います。その悩み、相談本を読んで解決のヒントを見つけてみませんか？今回はユーモラスな相談本をご紹介します。



### 『縄文人に相談だ』

望月 昭秀/著 KADOKAWA 210.2/シ/20 (図書館3階文庫)

実際に縄文人が悩みに回答してくれるわけではありませんが、縄文人のふりをした現代人が縄文的に悩みに答える本です。縄談（じょうだん）を入れながら、現代人の悩みをゆるく貝塚（古代人類のゴミ捨て場）に送ってしまいます。ちょっとした掛け合いや、文章の上下に小さく入る説明などが所々にあり、くすっと笑える一冊となっています。

### 『#赤ちゃん相談室』

森戸 やすみ/監修 大野 太郎/イラスト もーちゃん/原案  
宝島社 599/ア/20(図書館3階実用)

赤ちゃんたちを「お客さま」、回答している親たち（ときどき祖父母）は「スタッフ」、各家庭を「店舗」とし、育児現場の「あるある」を、カスタマーセンターふうに表示。世界一かわいいクレーマーとの格闘を楽しみながら、客観視するもよし、赤ちゃんの気持ちを想像するもよしの一冊です。



### 『ニヤンとかなりませんか？』

齋藤 慈子・服部 円/著 河出書房新社 645.7/ニ/21 (高蔵寺)

いっけん気ままに見えるネコですが、とーっても悩んでいるのです。そんなネコたちの悩みをネコ研究者の方たちがズバリ回答してくれています。回答に沿ったネコ学も掲載されていますので、ネコについてより理解が深まること間違いなし。ネコとの付き合い方に自信がない飼い主さんたちにもお役に立つことと思います。